

平成23年度事業報告

第33期（平成23年4月1日から平成24年2月29日まで）

第34期（平成24年3月1日から平成24年3月31日まで）

I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業をした。なお、平成24年3月1日に公益財団法人に移行登記を行ったため、事業報告は特例民法法人としての第33期（平成23年4月1日から平成24年2月29日まで）及び移行後の第34期（平成24年3月1日から3月31日まで）の事業実施状況を合わせて報告する。

1 文化財等保護活用事業

(1) 自然保護事業

- ・岡山後樂園タンチョウ人工ふ化30周年記念事業

特別天然記念物タンチョウの人工ふ化成功30周年を記念して、関連資料を展示した特別展や写真コンテストを行った。

タンチョウ特別展 1月1日（祝・日）～10日（火）

孵卵器等人工ふ化に欠かせない機器や貴重な記録写真などの展示及び写真コンテスト優秀作品の展示

- ・（社）日本ナショナル・トラスト協会との連携

ナショナル・トラスト全国大会に参加し、各地の取り組み、近況等について情報交換を行うとともに、「ナショナル・トラスト活動助成」を活用した土地取得、県下2カ所のトラスト地の管理方法等について情報収集を行った。

主催：（社）日本ナショナル・トラスト協会

期日：3月10日（土）

会場：ハンドレッドスクエア倶楽部（東京・秋葉原）

(2) 伝統的工芸品復活・普及支援

備中漆の復活に取り組む（社）林原共済会を支援するため、当財団では平成6年から真庭市（旧川上村）及び新見市の市有地（山林、計約7.6ha）の無償借用を行っており、これを継続するとともに、（株）林原の破綻を受けて、新たに両市等と協議会を結成し、今後の支援に取り組むこととした。

3月26日（月）第1回協議会開催

(3) 文化財の保護

平成22年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑と遺愛かんとうのひ煤いあい碑のうめの」の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。

- ・「池田光政公御涼所跡」現地説明会

整備完成を記念した現地説明会を開催し、柴田一就実大学名誉教授が歴史的な経過を、廣常人世岡山大学名誉教授が碑文の解説をした。その後、光政公が晩年を過ごした岡山城西の丸付近に移動し、乗岡実岡山市教育委員会文化財課長から説明を聞いた。

日時 5月28日（土）

参加者 延べ 110人

(4) 伝統芸能の普及振興

- ・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台 10月1日(土)

番組 能 「田村」、「葵上 梓之出」

出演者 観世流 山崎 芙沙子ほか

狂言 「鬼瓦」

出演者 大蔵流 茂山 千三郎ほか

解説 京都府立大学教授 山崎 福之

- ・茶つき祭(5月15日(日))、お田植え祭(6月12日(日))、観蓮節(7月3日(日))、名月鑑賞会(9月12日(水))などの伝統的な行事を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

(5) 後楽園専任ボランティア「後楽塾」7期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」7期生を育成し、広く文化財庭園「後楽園」の魅力を発信した。

- ・募集 平成23年1月13日(木)～3月22日(火)

- ・塾生 20人

内訳 一般コース 15人(男性6人・女性9人)

外国語コース 5人(男性3人・女性2人)

- ・入塾式 5月10日(火)

- ・7期生の塾生としての活動期間は平成23年9月から平成25年8月31日までの2年間

(6) 岡山後楽園「延養亭」の特別公開

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施

延養亭の室内と、延養亭に隣接する茶室「臨漪軒^{りんいけん}」(非公開)の解説を交えての見学会

10月24日(月)～30日(日) 1日2回、各回定員15人

延べ参加者 141人

(7) 先賢の顕彰

1) 郷土ゆかりの先賢顕彰

財団が多くの資料を収集している内田百閒について企画展を実施したほか、郷土出身偉人の顕彰に努めた。

2) 「岡崎嘉平太記念館」開館10周年記念イベントの開催

8月23日で開館10年となったため、記念館による顕彰事業や日中交流などその足跡を振り返った。

・場 所 岡崎嘉平太記念館ほか

・時 期 9月～10月

3) 「犬養木堂記念館 紅葉と和文化を楽しむ会」の開催

記念館庭園及び生家においてボランティアの協力を得て「紅葉と和文化を楽しむ会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努めた。

4) 「内田百閒」の顕彰

ア 特別展「百鬼園先生、日銀金庫に入る」の開催

場 所 ルネスホール（岡山市北区）

会 期 平成24年2月17日（金）～2月26日（日）

・遺品、初版本等展示

見学者 1,056人（音楽会参加者を含む。）

・内田百閒の音楽会

開催日 2月24日（金）

参加者 200人

イ 内田百閒記念碑園（岡山市中区旭川河川広場）の維持管理を行うとともに、近接する三光荘内の「内田百閒コーナー」に財団所蔵の百閒ゆかりの品を展示（3回展示替）した。

2 普及啓発事業

(1) 郷土文化講座等の開催

- 1) 岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、岡山
の自然・文化・歴史に関する講座を開催した。

1) 岡山県立図書館会場

ア 1月17日(火)

「岡山における水との闘いー旭川と百間川の過去・現在・未来ー」

講 師 植田 彰 (国土交通省岡山河川事務所長)

参加者 105人 (うち会員 78人)

イ 2月7日(火)

① 「外村家^{とのむらけ}で暮らして」

講 師 上田 睦子 (染織家)

② 「くらしに民藝を」

講 師 金光 章 (日本民藝協会会長)

参加者 78人 (うち会員 53人)

ウ 2月14日(火)

「造形史から見る仏像の意義について」

講 師 土井 通弘 (就実大学教授)

参加者 91人 (うち会員 69人)

エ 3月6日(火)

「岡山の文学者たちー多士済々と反骨と」

講 師 綾目 広治 (ノートルダム清心女子大学教授)

参加者 68人 (うち会員 47人)

2) 木堂祭、犬養木堂記念館講演会の開催

- ・木堂祭記念講話 (5月15日)

演題：「犬養木堂と辛亥革命」

講師： 倉敷芸術科学大学教授 時任 英人 氏

3) 岡崎嘉平太記念館講演会の開催

- ・岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第十回講演会

日時 12月4日(日) 13時15分～15時20分

場所 吉備高原リゾートホテル多目的ホール

演題 岡崎先生へ熱烈ラブレター(講師 鈴木 将弘)

演題 岡崎先生の遺言～『岡崎嘉平太伝』インタビューで見た愛と情熱～(講師 土井 道彦)

4) 第一回おかやま文化フォーラム「見えてきた古代吉備の実像」の開催

主催 岡山県、郷土文化財団、おかやま県文祭実行委員会

日時 11月12日(土)

場所 県立美術館 二階ホール

基調講演 狩野 久(奈良文化財研究所名誉研究員)

パネルディスカッション

神崎 宣武(おかやま夢づくり顧問)

狩野 久

新納 泉(岡山大学大学院教授)

乗岡 実(岡山市教委文化財課長)

参加者 210人

(2) 広報誌「きび野」の発行

年4回発行 A5判 約16ページ 4,500部/回

(3) 財団ニュース「お知らせ」の発行 3,000部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

(4) 現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、
県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

1) 自然と文化を訪ねるバスの旅

ア 「山田養蜂場と苫田ダムを訪ねる研修会」

・ 苫田郡鏡野町 7月21日(木)

参加者82名(うち会員68名)

イ 「法然上人ゆかりの地を訪ねるコース」

・ 久米郡久米南町・美咲町 11月3日(木・祝)

誕生寺、本山寺

解説 土井 通弘(就実大学教授)

参加者71名(うち会員63名)

ウ 「古代吉備(備前)をめぐるコース」

・ 岡山市北区、中区、赤磐市 11月22日(火)

・ 岡山市埋蔵文化財センター、賞田廃寺

解説 扇崎 由(岡山市教育委員会文化財課)

・ 赤磐市山陽郷土資料館、岩田14号墳、両宮山古墳

解説 高畑 富子(山陽郷土資料館学芸員)

参加者39名(うち会員35名)

2) 美術等鑑賞会

ア 岡山県立美術館

・ 「福武コレクションによる国吉康雄展」

8月10日(水)

講師 橋村 直樹(県立美術館学芸員)

参加者 34名（うち会員27名）

- ・「長谷川等伯と雪舟流」

1月31日（火）

講師 中村 麻里子（県立美術館学芸員）

参加者 54名（うち会員47名）

イ 岡山県立博物館

- ・「出雲と吉備一玉・銀・神楽一」

2月9日（木）

講師 正木茂樹（県立博物館学芸員）

参加者 42名（うち会員39名）

ウ 林原美術館

- ・特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」

3月17日（土）

講師 浅利 尚民（林原美術館学芸員）

特別講演 「洛中洛外図屏風を読み解く」

黒田 日出男（群馬県立歴史博物館長）

参加者 30名（うち会員29名）

(5) 印刷物等の作成

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布した。

1) 「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成22年度郷土文化講座の講義録 No. 31 を編集、配布した。

4,000部（3月）

2) 犬養毅の名を広めた「戦地直報」について

郵便報知新聞へ掲載された木堂の西南戦争の戦地取材記事についてのレポートを作成し、図書館等へ配布した。

1, 000部 (2月)

- 3) 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十回講演会
講演集」 300部 (3月)

- (6) 「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集した。

- (6) インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。

- (7) 内田百閒及び生田安宅 (医学者) 資料の整理保存

御遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を整理保存した。

- (8) 財団収集資料の公開

引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。

- ① 植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料 (書籍約 5,300 冊、
雑誌約 7,000 冊) を県立図書館に寄託

・植物標本 (約 3,300 点) を岡山県自然保護センターに寄託

- ② 郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器 (約 60 種類、
約 700 点) を岡山県立博物館に寄託

- ③ 郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作 (6 人、10 点) を
岡山県立美術館に寄託

- (9) 資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、そ
の成果の活用に努めた。

3 地域文化振興事業

(1) 演奏会等の開催

- ・岡崎嘉平太記念館開館10周年記念「信と愛」の心を育てる名曲コンサート

日時 9月4日(日) 13時30～15時15分

会場 吉備中央町 ロマン高原かよう総合会館

内容 ピアニスト岡崎ゆみ氏(岡崎嘉平太の孫)及び倉敷管弦楽団等によるクラシックコンサート

共催 (社)岡山県文化連盟(周年事業助成)

(2) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された郷原漆器展示即売会(郷原漆器約300点を一堂に展示即売)の「おしらせ」等による広報面での支援を行った。

期間 平成23年12月16日～18日

場所 晴れの国おかやま館(岡山市北区表町)

(3) 各種団体との共催事業等

1) 第26回「下津井節全国大会」の共催

9月24日(土)・25日(日)

場所 倉敷市児島文化センター

主催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

2) 第9回おかやま県民文化祭特別事業「岡山芸術回廊」プレ開催事業の共催

11月13日(日)～12月4日(日)

場所 岡山後樂園、岡山城ほか岡山カルチャーゾーン一帯(岡山市)

主 催 おかやま県民文化祭実行委員会、岡山県

3) 平成23年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

平成24年1月14日(土)～8月19日(日)

場 所 岡山県自然保護センター(和気町)等

主 催 岡山県自然保護センター、財団法人 岡山県環境保
全事業団

4) 後援

「第27回能楽入門鑑賞会」ほか49事業

(4) 郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員が制作した絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催した。

・天神山プラザ

会 期 6月7日(水)～12日(日)

出 品 124点 (絵 画 83点、写 真 41点)

入場者 1,100人

(5) 苗木配布事業

古くから親しまれてきたウメ・サクラ・モモの苗木を市町村を通じて地元コミュニティに交付した。

・津山市(津山市宮尾、中国自動車道法面)

ソメイヨシノ 20本

4 受託事業

(1) 岡山後楽園の管理運営

文化財庭園「岡山後楽園」の管理を県から受託し、実施した。

(2) タンチョウ野外行動調査並びに自然保護センターにおけるタンチョウ

飼養管理及び傷病鳥獣の保護、入園者に対するガイド・指導等

県並びに（財）岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。なお、総社市でのタンチョウ野外行動調査は本年度をもって終了した。

(3) 犬養木堂記念館、生家の管理運営

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館、生家の管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

1) 第17回犬養木堂顕彰児童生徒書道展

4月20日（水）～5月20日（金）

特別賞 25点、入賞 412点、入選 403点

2) 一品展17 6月8日（水）～6月27日（月）

展示品 木堂が竹筆で書いたという掛軸「木堂書吉語五字一行」及び木堂の箱書き

3) 一品展18 8月3日（水）～8月22日（月）

展示品 木堂が大阪の支援者に頼まれて揮毫した犬養毅書旗

4) 秋の企画展関連イベント 「紅葉と和文化を楽しむ会」

11月26日（土） 10時～15時

協力 一絃琴一藤会・後樂園遊扇会

5) 秋の企画展「闘う政治家 犬養木堂－明治期の活躍－」

10月13日（木）～11月30日（水）

展示品 木堂書簡、国民党の額、木堂宛孫文書簡ほか

6) 一品展19 12月7日（水）～12月26日（月）

展示品 木堂が還暦の年である大正4年（卯年）に同志である前川虎造に宛てて書いた「軸 録邵康節詩」

7) 一品展20 2月8日（水）～2月27日（月）

明治10年（1877年）に起こった西南戦争の従軍記者として戦地に赴いた木堂が配信し、犬養毅の名を知らしめた記事「戦地直報」を実物資料とパネルで関係資料とともに紹介

- 8) 第18回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 作品募集、審査表彰
3月4日(日) 表彰式
- (4) 岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展
先賢を顕彰するため指定管理者として記念館の管理運営、資料収集
整理並びに企画展等の業務を実施した。
- 1) 「岡崎嘉平太もったいない人形劇」公演
記念館 4月
- 2) 第5回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」
・岡崎嘉平太記念館会場
5月20日(金)～6月26日(日)
・天満屋地下タウン アートスペース会場
6月29日(水)～7月4日(月)
- 3) 特別展「岡崎嘉平太記念館10年の歩み」
9月4日(日)～10月23日(日)
遺品展示、パネル等により記念館の10年間の主な活動を紹介
- 4) 「秋山清水展－肖像画の大家をしのぶ－」の共催
11月7日(月)～11月20日(日)
主催：吉備中央町教育委員会
展示品 夏目漱石、犬養毅、尾崎行雄、佐藤栄作、岡崎嘉平太
の肖像画等、清水の作品や資料
- 5) 中国文化に親しむ会～中国茶と中国食文化の映像を楽しむ会～
日時 2月5日(日) 14時～15時30分
中国茶講師 横山 千春氏
記録映画『中国の食文化・江南で龍井』 重森 貝崙氏
- 6) 第4回「嘉平太が愛したふる里 こども作品展」
3月2日(金)～3月11日(日)

- 7) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行（7月・1月）
- (5) 第十一回 岡山県「内田百閒文学賞」の作品募集等
- 文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品募集業務等の企画・運営を行った。